

IP Phoneフックスイッチのトラブルシューティングとクリーニング

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[Cisco IP Phoneフックスイッチのクリーニングとトラブルシューティング](#)

[シグナリング](#)

[受け台クリップ](#)

[LAN コード](#)

[セルフクリーンフックスイッチコンタクト](#)

[連絡先のクリーニング](#)

概要

このドキュメントでは、不要なReturn Material Authorization(RMA)を防ぐために、Cisco IP Phoneフックスイッチをクリーニングしてトラブルシューティングするベストプラクティスについて説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の前提条件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco 7800および8800シリーズのIP Phoneに基づくものです。

背景説明

ハードウェア障害として報告された多数のCisco IP Phoneを徹底的に分析すると、大部分の電話機には明確な障害がないことがわかります。電話業界で測定される基準はBell Corp/Telcordia標準に基づいており、標準の許容故障率は4 %に設定されています。Cisco IP Phone の全体的な故障率はこの業界許容平均を大幅に下回っています。ハードウェア障害として報告される問題の多くは、実際には操作またはクリーンアップの問題です。このドキュメントでは、Cisco IP Phoneを交換する前に、特定の問題をトラブルシューティングするために実行できる一般的な手順について説明します。

Cisco IP Phoneフックスイッチのクリーニングとトラブルシュー

テイング

この項では、フックスイッチの故障と思われる場合の電話機の使用法と対処法についてガイドラインを示します。

注：電話機をクリーニングまたはワイプするには、わずかに湿った柔らかい布を使用する必要があります。クリーニングその他の目的で電話機に液体や粉末を直接かけないでください。耐候性のある電子機器以外のすべての電子機器と同様に、液体や粉末が原因でコンポーネントが劣化し、障害が発生する可能性があります。

シグナリング

電話機と Cisco CallManager の間でシグナリングが正しく動作していることを確認します。スピーカー ボタンを使って電話に応答するか、受話器を外します。通話に応答がある場合、またはダイヤルトーンを受信する場合には、シグナリングがアクティブ状態です。

受け台クリップ

電話機の設計には、ハンドセット受け台部分に反転可能なクリップが含まれています。電話機の壁面取り付けでは、タブを外側にしてクリップを使用します。クレードル受話器クリップが壁面取り付け位置（上に突出したプラスチックタブ付き）にあるかどうかを確認します。電話機がデスクトップ上にある場合は、クリップを上をスライドさせて取り外し、180度回転して、タブが非表示になるようにスライドし直します。

このタブは（受け台の）基部のハンドセットの位置になるためハンドセットの邪魔になり、フックスイッチが上がったままの状態になる可能性があります。その後、新しい通話を開始したり呼び出しに応答したりしようとしてハンドセットを持ち上げても、フックスイッチが動作しません。呼び出しに応答しても、電話機が鳴り続けます。発信しようとしてもダイヤルトーンが聞こえません。

LAN コード

電話機に同梱されていたダークグレーコード/LANケーブルが使用中かどうかを確認します。別のパッチケーブルを使用している場合は、電話機の側面、ベースとフットスタンドの間を通るように配置します。直径の大きいCat-5、Cat-5E、またはCat-6などの他のケーブルは、パススルーの開口部に対して大きすぎる可能性があり、電話機を前に傾けます。ディスプレイからのグレアを抑えるために、フットスタンドはさまざまな位置に調整できるように設計されています。電話機が最も垂直な位置に調整されると、直径の大きいコードによって、電話機がフックスイッチにしっかりと固定されていない位置まで電話機を強制的に前進させることができます。これにより、誤ったオフフック状態になります。

ハンドセットがフックスイッチにしっかりと収まるよう、電話機の位置を最も垂直な角度から 1 ノッチずらしてください。

セルフクリーンフックスイッチコンタクト

フックスイッチ接続部は、セルフクリーニングによって接続部を拭き取るように設計されています。電話機を使用せずに長時間使用すると、埃などの空気不純物が接触性能を阻害し、断続的な動作を引き起こします。フックスイッチを押してすぐに放す動作を十数回繰り返して、接続部を

クリーニングしてください。

連絡先のクリーニング

電話機のシェルの2つ分解します（前面と背面には4本のネジがあります）。このうち、すべての電子部品が据え付けられている前半分で、フックスイッチを見つけて取り外します。その下に、小さな白い接続パッドがあります。接続パッドを持ち上げ、その下にある接続部を消しゴムで清掃して、できるだけ色がシルバーになるようにします。

注：これらのソリューションで問題が解決しない場合は、電話機のRMAプロセスを開始できます。